

日中サービス支援型指定共同生活援助における地方公共団体が設置する協議会等への報告及び評価等について（案）

日中サービス支援型指定共同生活援助を行う事業者（以下、「事業者」という。）は、地域に開かれたサービスとすることにより、サービスの質の確保を図る観点から、障害者総合支援法第 89 条の 3 第 1 項に規定する協議会等に対し、年に 1 回以上、実施状況等を報告し、評価、助言を受けることとなっている。

千葉県における協議会等への報告、協議会等による評価、助言については以下のとおり運用したい。

1 協議会等への報告

- （１） 事業者は、市町村の自立支援協議会（以下、「市町村協議会」という。）に定期的（年 1 回）に事業の実施状況等を報告する。
- （２） 市町村協議会は、事業者からの報告に対し、評価、助言等を行うとともに、結果を千葉県総合支援協議会入所・地域生活支援専門部会（以下、「県協議会」という。）事務局に報告する。
- （３） 県協議会事務局は市町村協議会から提出された報告をとりまとめ、県協議会に報告する。
- （４） 県協議会は必要に応じて市町村協議会に助言等を行う。
- （５） 市町村協議会は、県協議会における助言等を尊重し、次回以降の事業者に対する助言、評価等の質が向上するように努めるものとする。

2 事業者から市町村協議会への報告項目（案）

- （１） 利用者の主な日中活動について
 - ・ グループホーム内で主になどのような日中サービスを提供しているか。
 - ・ 外部の日中活動サービス等の利用人数及び内容について
- （２） 利用者に対する地域生活の支援状況について
 - ・ 利用者に対して外出や余暇活動の支援に努めているか。
 - ・ 体験的利用等のニーズに対応しているか。
- （３） 支援体制の確保について
 - ・ 日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。
- （４） 地域に開かれた運営について
 - ・ 家族や地域住民との交流の機会が確保されているか。
 - ・ 実習生やボランティアを積極的に受け入れているか。
- （５） 短期入所の併設について
 - ・ 地域で生活する障害のある方を積極的に受け入れているか。
 - ・ 緊急、一時的な支援等の受け入れに対応しているか。
- （６） 相談支援事業者や他のサービス事業所との連携状況について
- （７） その他、市町村が定める報告項目